
山ノ内町立南小学校2学年 ― おいしいりんごを育てよう

山ノ内町の南小学校2年生は、「育てる・届ける・味わう」を通じて、リンゴ作りに挑戦しました。1年を通して畑でリンゴを育てるという活動は、子どもたちにとって農業や自然との向き合い方、地域とのつながりの大切さを学ぶ大きな機会となりました。

リンゴづくりに挑戦

春、地元農家の協力で畑を借りた2年生たちは、摘花から葉つみ、シート敷き、玉回しといった本格的な栽培作業を体験。太陽の光を効率よく当てる工夫や、光の反射を活用する方法など、学んだことを実践しながらリンゴの赤みと味を引き出していきました。

クラスで育てたリンゴには、「南小13人の2年生のシャリシャリふじリンゴ」と名前をつけて販売。ネーミングには児童たちの愛着と誇りが込められています。

地域での販売とお客様とのふれあい

道の駅での販売会では、試食を配ったり、感想を集めたりしながら、直接人と接する経験を重ねました。「甘くて美味しい」「蜜がいっぱい」などのお客様の声に、子どもたちは嬉しさと達成感を感じ、自分たちの手で育てたものが人を笑顔にする喜びを学びました。

販売後は感謝の気持ちを込めた手紙も作成し、食べ物やお客様とのつながりを実感できる取り組みとなりました。

命を大切に、自然を活かす

収穫後のリンゴはジュースにしたり、料理に使ったりして「無駄にせず活かす」ことを大切にしました。ジュースをお家の人や全校に配ったことで、「作る」から「分け合う」までの循環を体験することができました。